

† 12月の共同祈願 †

待降節の間、私たちが心と体を整え、キリストの誕生を迎えることができるよう導いてください。私たちが真の救いを待ち望む中で、新たな希望の光を灯してくださいませように。

朝の祈りにおいて：恵みを願って一日を始めよう

❖朝、自分が待ち望んでいるものを願いましょう。今日一日必要な願いとともに、今日明日かなうものではないけれど、いつか実現したい望みも祈り求めていきましょう。

晩の祈りにおいて：今日一日をふりかえってみよう

❖今日一日、どういう恵みがあつたでしょうか。主が私に与えてくださった希望のしるしは何だったでしょうか。それを振り返ってみましょう。

マグニフィカト（ルカ福音書 1:47-55）

この有名な賛歌は、マリアさまがイエスを宿しながら、喜びのうちに唱えたものです。当時のイスラエルの人びとが待ち望んでいた救いのビジョンとも言えます。マリアさまと心を合わせて、現代の人びとの救いも願っていきましょう。伝統的に、晩の祈りで唱えます。

わたしは神をあがめ、
わたしの心は神の救いに喜びおどる。
神は卑しいはしためを顧みられ、
いつの代の人もわたしを幸せな者と呼ぶ。
神はわたしに偉大なわざを行われた。
その名は尊く、あわれみは代々、神を畏れ敬う人の上に。
神はその力を現し、思い上がる者を打ち砕き、
権力をふるう者をその座から下ろし、見捨てられた人を高められる。
飢えに苦しむ人はよいもので満たされ、
おごり暮らす者はむなしくなって帰る。
神はいつくしみを忘れることなく、しもベイスラエルを助けられた。
わたしたちの祖先、アブラハムとその子孫に約束されたように。

✦ 解説

今月は待降節に当たりますので、素直に主の降誕を待ち望む祈りをささげましょう。当時のユダヤ人は、救い主が現れ、イスラエルの民を救ってくださることを待ち望んでいました。人びとの願いに答えるかのように、父なる神はひとり子イエスを救い主としてこの世に送ってくださったのです。

幼子イエスは、希望のしるしでした。

2000年以上の時を経て、私たちも救い主の誕生を待ち望んでいます。今、あなたはどのような救いを待ち望んでいるでしょうか。どのような願いを神にささげたいでしょうか。今すぐに実現できないけれど、真剣に願い続けたいことは何でしょうか。

それは自分のことかもしれないし、身近な人のためであるかもしれないし、社会の人びとのことかもしれません。

真の救いにつながるものを待ち望んでいきましょう。

みことば

～詩編 130 : 6～

わたしの魂は主を待ち望みます
見張りが朝を待つにもまして
見張りが朝を待つにもまして。

